

# 演者向け案内

コ・メディカル形態機能学会第 20 回学術集会・総会

web 開催

## I. 接続環境の準備・注意点

- 通信環境の良い場所でご準備ください。通信の安定性を高くするために、有線LANによる接続を推奨します。
- 静かな場所からのご参加をお願いします。
- お持ちのPCにカメラ、スピーカー(イヤフォン)、マイクが付属されているか確認してください。
- **ハウリング防止のためイヤフォン等の使用を推奨します。**PC内蔵スピーカーですと、ハウリングが起こりやすくなります。
- 聴講時は**マイクをミュート・カメラをオフ**に設定して下さい。
- 発表の際は、**マイクのミュート解除・カメラをオン**にして下さい。

## II. 発表時の流れ

参加申し込みをいただいている先生方には、直接メールにて Zoom の URL、ミーティング ID、パスコードをお送りします。メールに記載されている URL もしくは Zoom アプリから ID とパスでログインをお願いします。

1. マイク、カメラの ON  
演題の順番が来ましたら、マイク・カメラを ON にして下さい。
2. 画面共有の開始  
座長による紹介が、終了しましたら、画面共有を開始して下さい。
3. 発表の開始  
スライドを進めながら、発表を開始して下さい。スライドが終了したら、画面共有を停止して下さい。
4. 質疑応答  
質問がある方から、座長の指名により質問が参加者からありますので、それにお答え下さい。
5. 発表終了  
マイクをミュートに、カメラを OFF にして下さい。

## III 著作権の取り扱い

- 学会でのオンラインでの発表は、自動公衆送信による再送信とみなされます。著作物を使用するには、**原則として、著作権者の許諾が必要となります。**画像・音声等にも**出典を明記すること**や著作権を侵害していないことの確認をお願いします。
- 発表者が企業の方の場合や大学でも受託研究・共同研究などで、事前に発表の形式、聴衆の範囲などの許可を取っている場合、開催形式がオンライン発表に切り替わった場合には再度の許可手続きが必要になります。特に輸出貿易管理令に抵触する内容の場合などではオンラインでの配信は許可されないこともあるので、発表者は十分に注意してください。

**以下の情報も参考に、著作権の取り扱いには十分に注意してください。**

文化庁「新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校教育における ICT を活用した著作物の円滑な利用について」

- 著作物の利用対応を証明している著作権等管理事業者等一覧を確認いただけます。  
<https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/92080101.html>
- 公益社団法人著作権情報センター「著作物の正しい使い方は？」  
<https://www.cric.or.jp/qa/hajime/hajime6.html>